

# 令和5年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅴ		演習・講義	小林 正明・坂東 恵美子・今井 絵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
意識障害の評価・感覚検査・片麻痺機能検査・脳神経の検査・中枢神経障害の評価・高次脳機能障害の検査について講義を行います。高次脳機能検査については、言語聴覚士の今井先生より講義をしていただきます。実技をできるだけ多く行い、実際の場面や障害像を想定した練習が行えるようにしたいと思います。それぞれの検査の意義や結果の解釈の仕方を1年生の時に習った基礎的知識と結びつけ、理解できるようになることを目的とします。				
授業の到達目標				
1. 各検査における基礎知識を理解できる 2. 検査の目的、注意点、手順を正しく理解できる 3. 検査を実践する技能を身につける 4. 検査結果の記載方法と考察について理解する 5. 疾患と関連づけて考えることができる				
授業計画				
回	内容			
1	高次脳機能障害 概要・評価①基本概念、注意障害について			
2	高次脳機能障害 概要・評価②失行、失認について			
3	高次脳機能障害 概要・評価③記憶障害、失語症について			
4	オリエンテーション・意識障害の評価 評価方法・感覚検査 感覚の種類や伝導路 検査の目的 注意点 手順			
5	感覚検査 表在感覚検査方法（実技） 深部感覚検査方法（実技）			
6	感覚検査 温冷覚検査方法（実技） その他の検査方法（実技）			
7	感覚検査 感覚解離について 復習（実技）			
8	脳神経の検査 脳神経の機能 検査方法（実技）			
9	脳神経の検査 脳神経の機能 検査方法（実技）			
10	脳卒中機能障害評価セット・その他脳血管障害の総合評価			
11	片麻痺機能検査 脳血管疾患について 検査の概要			
12	片麻痺機能検査 検査方法（実技）			
13	片麻痺機能検査 検査方法（実技）			
14	実技テスト（感覚検査）			
15	実技テスト（片麻痺機能検査）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	（うち小林30%・坂東20%・今井20%）		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	30%	実技試験（うち小林15%・坂東15%）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 岩井信彦 編		医学書院	
標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版	吉尾雅春 森岡周 編		医学書院	
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版	医療情報科学研究所 編		メディックメディア	
目でみる脳卒中リハビリテーション	上田敏		東京大学出版会	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
ベッドサイドの神経の診かた 第18版	田崎義昭 斎藤佳雄		南山堂	
基礎運動学 第6版	中村隆一 斎藤宏		医歯薬出版	
自由記載				
備考				